

令和4年度 高齢者交通安全対策事業

実施日： 2日間

10月18日(火)

11月29日(火)

参加者：34名

海南市老人クラブ連合会会員 17名

紀美野町老人クラブ連合会会員 17名

海草振興局

令和4年度高齢者交通安全対策事業の実施

海草振興局

【目的】

高齢者に、現在の運転技能を正確に認識する「気づきの機会」を提供することで、高齢者ドライバーによる加害事故を防止する。

【特色】

海草振興局が主催し、地域の老人クラブ、警察署、自動車教習所との協働による実践型の交通安全対策事業

【特徴】

- ・少人数制(18人)のきめ細かな交通安全対策事業
- ・ドライブレコーダーを活用し、録画した映像を見ながら、指導員と警察官が個別に助言
- ・新たな技能検査項目を2点追加
 - ①アクセルとブレーキの踏み間違い防止のため、段差路での発進
 - ②信号機のない横断歩道での歩行者横断時の一時停止の徹底
(サイン+サンクス運動の実習により高齢者ドライバーの意識を向上)

【実施内容】

運転実技チェック
(夜間視力、動体視力他)



指導員による
運転実技チェック



指導員と警察官による
個別アドバイス



参加者内訳と運転の状況(その1)

【参加者(34名)内訳】

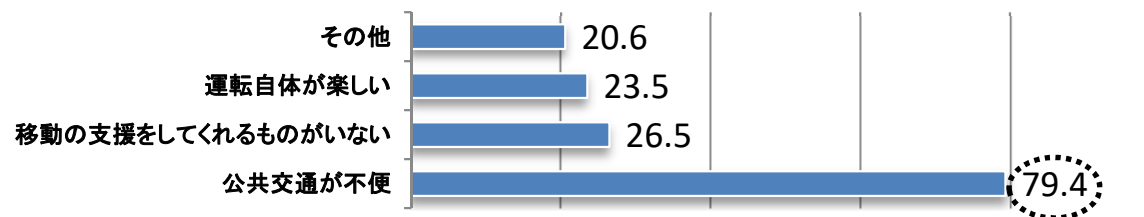
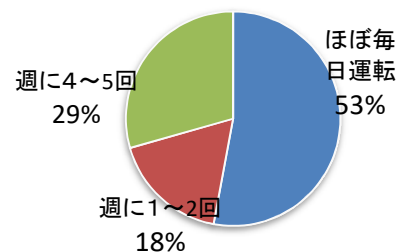
○平均年齢 73.3歳

男女比	全体	人数	割合
男性	34	26	76.5
女性	34	8	23.5

年代	全体	人数	割合
60代	34	4	11.8
70代	34	19	55.9
80代	34	11	32.4

最高齢	87
最年少	61

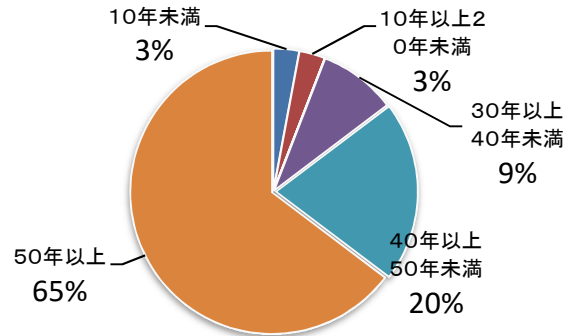
【運転の状況と運転する理由】



- ◆運転する理由については、「公共交通が不便だから」が最も多く約8割、「移動の支援をしてくれる者がいない」が3割近い回答。
 - ◆「その他」については、買い物や農作業、仕事の交通手段で必要という回答の他に、ゴルフに必要という回答であった。
- また、「運転自体が楽しいから」という回答も約24%あった。

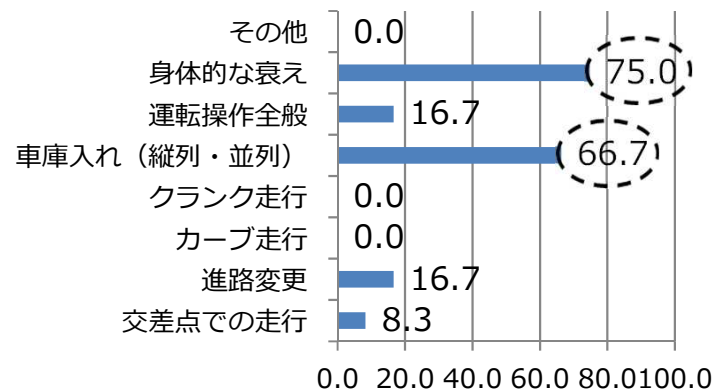
事前アンケート(その1)

【運転歴について】



◆運転歴については、40年以上が全体の85%、50年以上も65%が該当。

【運転に自信がない人に聞いた不安な点】



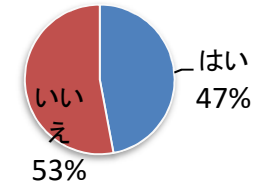
◆「運転に自信がない」と答えた人の不安な点として「身体的な衰え」が75%で一番多かった。ついで車庫入れが約67%だった。

事前アンケート(その2)

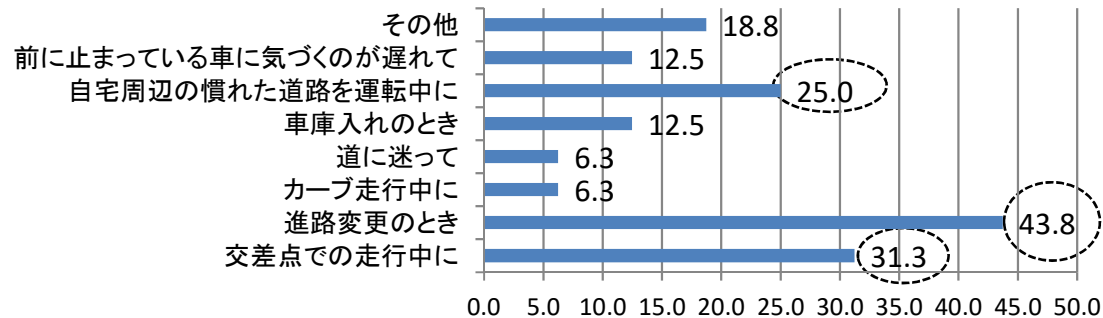
過去3ヶ月以内に運転中にハットしたりヒヤリとした経験はありますか／SA

全体 人数 割合

はい	34	16	47.1
いいえ	34	18	52.9



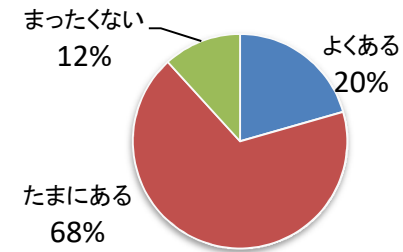
それはどんなときですか？



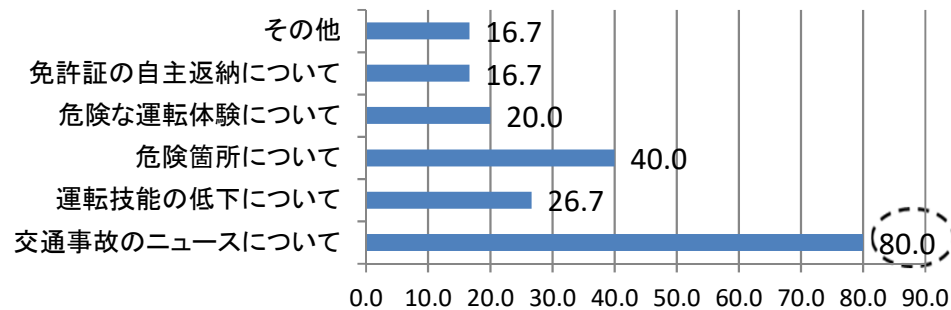
◆運転中にハットしたりヒヤリとした経験について、半数近くが経験ありと答えている。内容については、進路変更と交差点での走行中、ついで自宅周辺の慣れた道路を運転中との回答だった。

事前アンケート(その3)

交通安全について 家族と話をすること がありますか/SA	全体	人数	割合
よくある	34	7	20.6
たまにある	34	23	67.6
まったくない	34	4	11.8



それはどんなときですか？

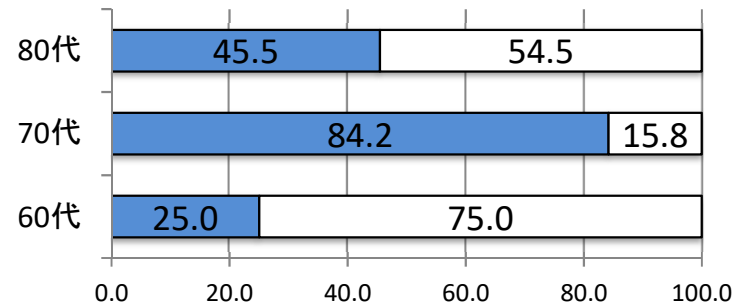


◆交通安全について家族と話をすることがある人は全体の9割近い。内容は、「交通事故のニュースについて」が8割と最も多く、「免許証の自主返納について」も5人から回答があった。

受講結果(その1)

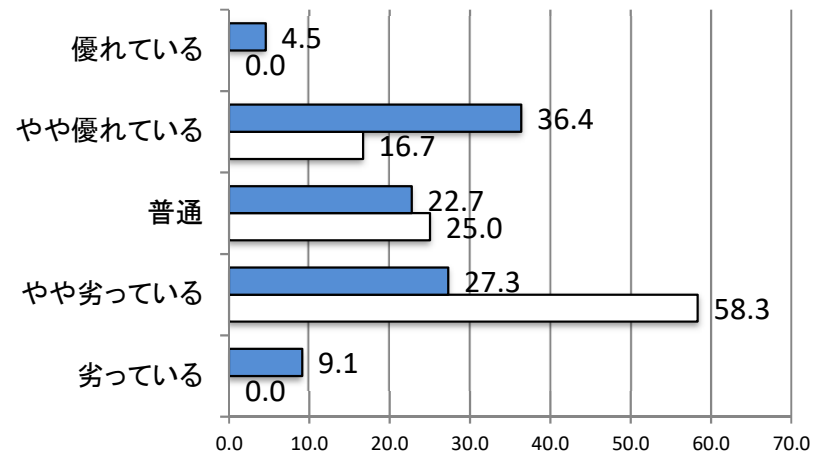
【自分の運転について自信がある】

■ 「はい」 22名
□ 「いいえ」 12名



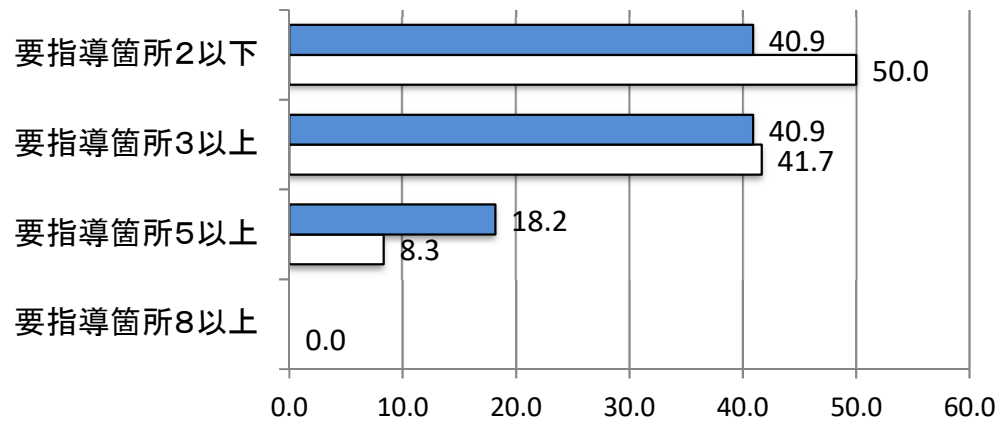
◆ 自信がある人は、70代の割合が高く、ついで80代、60代が一番少なかった。

【夜間視力検査について】



受講結果(その2)

【運転技能検査について】

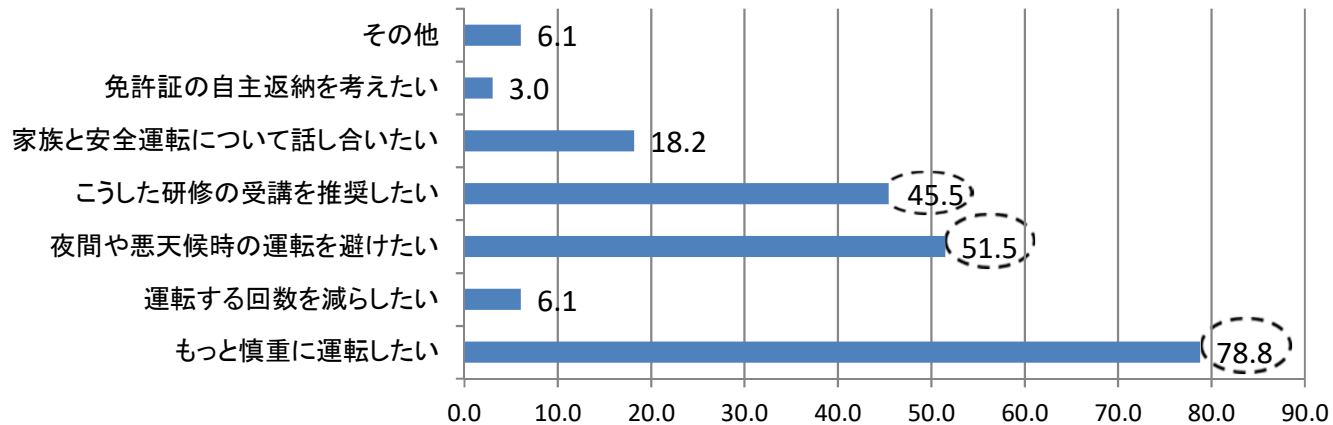


◆重点指導項目のうち、要指導箇所が5以上については自信のある人の約2割、自信のない人では8.3%が該当した。

◆重点指導項目(9項目)のうち、要指導箇所が2以下については自信のない人の半数に対し、自信のある人では約4割にとどまった。

事後アンケート

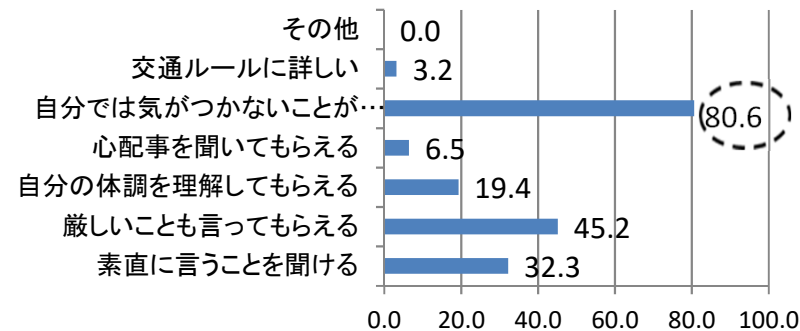
これからの安全運転の取組について



◆「もっと慎重に運転したい」が約8割、「夜間や悪天候時の運転を避けたい」と半数以上が回答。

安全運転に果たす家族の役割について

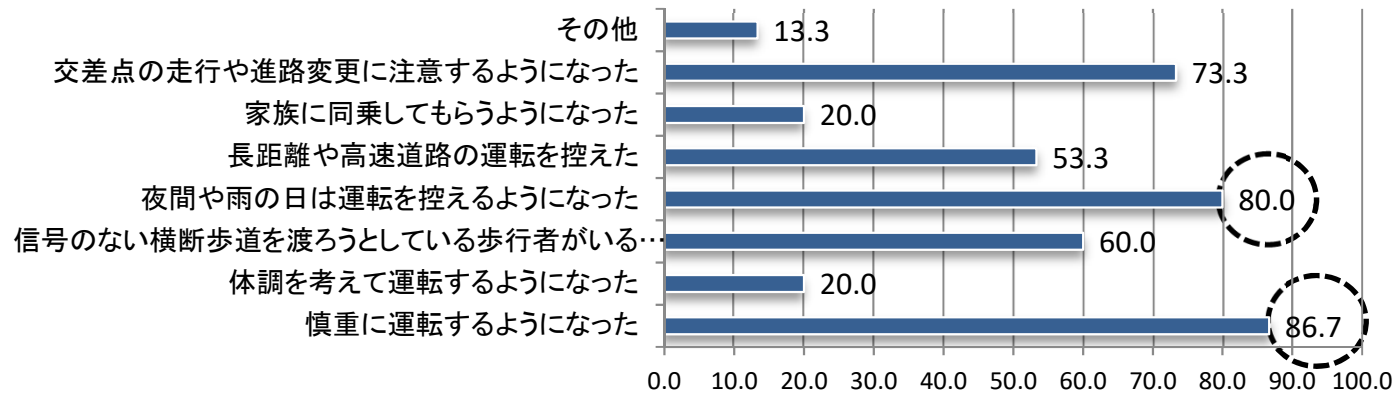
	全体	人数	割合
非常に大きい	33	17	51.5
大きい	33	14	42.4
あまり大きくない	33	1	3.0
大きくない	33	1	3.0



◆9割以上が、家族の役割について、「大きい」、「非常に大きい」と回答。
理由については、「自分では気がつかないことがわかる」という回答が約8割で最も多かった。

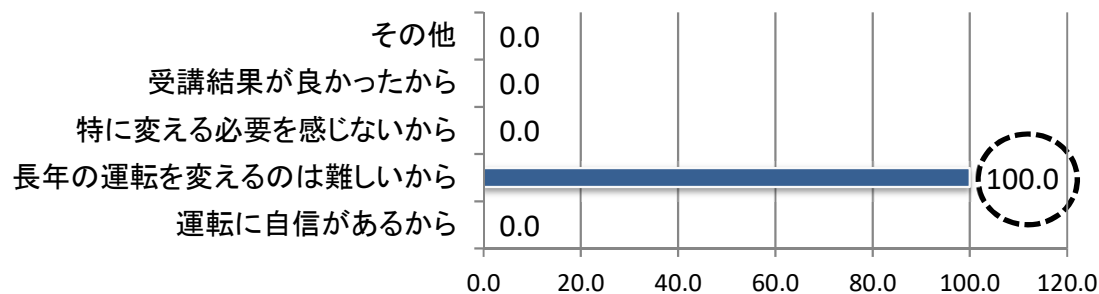
フォローアップ講習会アンケート(海南市のみ実施)

【受講後の運転の変化について「あると回答」】 15名/16名



◆受講後に「慎重に運転するようになった」方が87%、続いて夜間や雨の日は運転を控えるようになったと80%の方が回答。

【受講後の運転の変化について「ないと回答」】 1名/16名



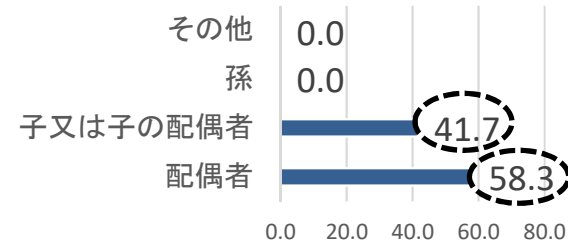
◆長年の運転を変えるのは難しいと回答。

フォローアップ講習会アンケート

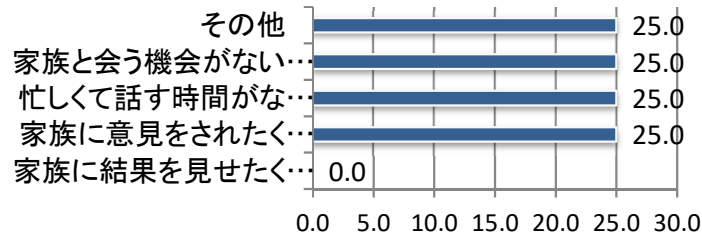
【家族と受講結果について話し合いましたか】

	全体	人数	割合
はい	16	12	75.0
いいえ	16	4	25.0

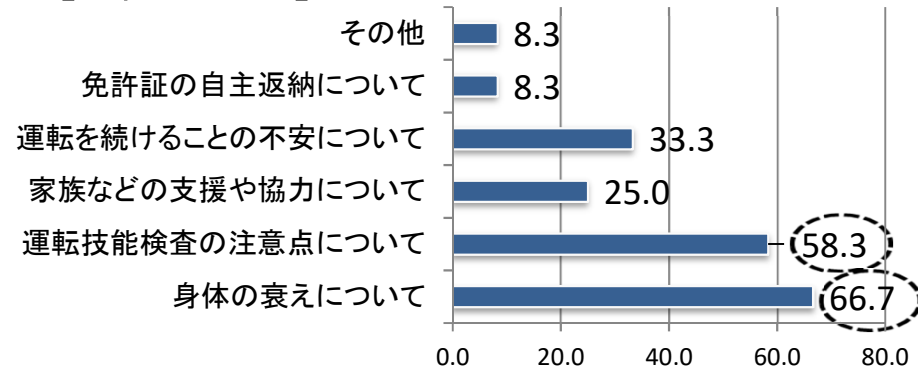
【家族の誰と】



【理由について】



【内容について】



◆約8割が受講結果を家族と話合ったと回答。配偶者と答えた方が最も多く59%、後は、子又は子の配偶者と回答。
内容については、身体の衰えについてが約67%、ついで運転技能検査の注意点についてが59%、免許証の自主返納についても1名が話し合ったと回答。

フォローアップ講習会アンケート

【今後、高齢者交通安全講習の受講を勧めたいですか】

	全体	人数	割合
はい	16	16	100.0
いいえ	16	0	0.0

【自由記述】

- ・身体能力等を数値で確認できる
- ・教習所で運転する機会がないので、受講してよかった
- ・交通安全の大切さと、身体能力の低下を再確認し、対応できるようになった
- ・運転実技の注意点の指摘は車を降りた後に知らされるが、その場で指導注意をして欲しい（その時に気づき反省できるから）
- ・教習所でなく、各公民館等でも出来る方法（模擬運動）ができれば、免許返納のアドバイスができるのでは。地域の注意箇所等の交通安全教育も取り入れて欲しい
- ・自分は慎重に運転しても、不注意運転される恐れがある。多くの人に受講してほしい
- ・受講後は、譲り合い運転するようになった
- ・田舎に住んでいるので、食料品等の買物や、通院は車なしでは考えられない事故をおこさないよう時間的に余裕を持ち、スピードは控えめに運転する

【ポイント】

●現状について

- ◇公共交通が不便で、移動の支援をしてくれる者がいないために自分で車を運転している。(約8割)
- ◇過去3ヶ月以内に、運転中にヒヤリとした経験があると5割近くが回答。
- ◇9割近くの人が、交通安全について家族と話をしている。
主な内容は、「交通事故のニュース」について。「免許証の自主返納」については2名が話合うと回答。

●検査結果について

- ◇夜間視力については自信のある人の37%、自信のない人では6割近くに衰えが目立つ。
- ◇重点指導項目(9項目)のうち、要指導箇所が3項目以上に、自信のある人の6割、自信のない人の半数が該当。

●受講後の意識変化について

～研修当日～

- ◇受講者の約8割が、これからもっと慎重に運転したい、また52%が「夜間や悪天候時の運転を避けたい」と回答。
- ◇家族の役割について、9割以上が「大きい」、「非常に大きい」と考えている。
理由は、自分では気がつかないことがわかるからが最多。

～フォローアップ講習(受講後3～4ヶ月後)～

- ◇94%が受講後に運転の変化があり、そのうち9割近くが慎重に運転するようになったと回答。
また、8割の人が夜間や雨の日は運転を控えるようになったと回答。
- ◇75%の人が、家族と受講結果について話し合ったと回答。
そのうち1名は、免許証の自主返納についてと回答。

【まとめ】

- ◇身体、視覚の衰えを自覚すること、自分の運転能力を把握することで、安全運転意識が大きく向上した。
- ◇家族の役割については、高齢者自身が認識しており、事故防止について、家族ぐるみで考える機会を提供できた。